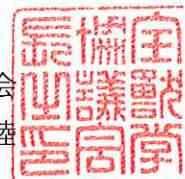


NPO 法人・地球生物会議 (ALIVE)

藤沢 様

全国大学獣医学関係代表者協議会

会長 稲葉 睦



先般の貴団体より各獣医系大学に対する質問状（5月1日付け、「動物実験の管理状況と代替法の導入状況について」）につきましては、既に各大学より回答が届いていることと拝察いたします。獣医学教育課程における動物実験の有り様に関心をお寄せいただき、また、貴重なご示唆をいただいたことに感謝申し上げます。

本件につき、獣医系大学の教員代表者で構成する本協議会では、次のように現状を認識し、また改善に取り組む方針を打ち出しておりますことを、関連事項としてお伝えいたしたく存じます。

1. 動物実験に関する3Rsに則り、各大学で適正な管理の下、獣医学教育において必要な最小限の動物実験を行っている。
2. 獣医学教育における動物実験削減、ならびに代替法の導入に関する世界的な動向に鑑み、日本においても、これらに関する国内獣医系大学全体としての方向性を提示すべく、検討を早急に進める必要がある。
3. 上記認識に基づき、平成29年3月27日に開催した全国大学獣医学関係代表者協議会では、協議会内に検討委員会を設置し、代替法導入の方針と具体策検討を進めることを全会一致で了承した。検討に際しては、現在、獣医学教育コア・カリキュラムに沿った動物実験を組み込んだ実習を行っている状況を踏まえ、関係者間で包括的な議論を行うものとする。

本協議会では、上記の方針に基づいて具体策の検討を進めてまいります。今後とも、ご理解とご助言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。